

西臼杵地域の普及活動（普及活動月報）

令和7年10月 西臼杵支庁

（西臼杵農業改良普及センター）

目次

I 管内農業・農村の出来事や新たな動き

1 【全域】第66回宮崎県畜産共進会

II 主な普及指導活動等の取組み

1 プロジェクト（総合、専門）に関する普及活動

[総合：集落営農等サポート体制、担い手の確保、規模拡大、6次産業化 等]

[専門：ミニトマト、キンカン、ラナンキュラス、りんどう]

1 【日之影町】ドローンを用いた水稻の湛水直播実証ほの生育状況調査

2 【高千穂町】ライフプラン作成支援

3 【全域】就農相談会の開催

4 【高千穂町】高千穂ファーマーズスクール検討会

5 【日之影】ミニトマト巡回を実施

6 【高千穂町・日之影町】きんかん全戸巡回を実施

7 【管内】高千穂地区果樹産地構造改革計画検討会

8 【管外】高千穂地区営農振興協議会果樹部会の視察研修を実施

9 【高千穂町】耐暑性リンドウ展示ほ調査の実施

10 【管内】暖房基礎研修会

11 【高千穂町】ラナンキュラス展示ほ開始

2 プロジェクト（総合、専門）以外の普及活動(一般活動)

1 【全域】有機農業に関する先進地調査

2 【全域】高千穂地区茶業振興会 役員会の開催

I 管内農業・農村の出来事や新たな動き

1 【全域】第66回宮崎県畜産共進会

4日、都城地域家畜市場において、宮崎県畜産共進会肉用牛種牛の部が開催され、西臼杵地域からは、各類合わせて計8頭の牛が出品されました。種牛の部では、第1類と第3類で優等賞首席を受賞するとともに、第3類の3頭がグランチャンピオンを獲得し、団体賞3連覇という素晴らしい快挙を成し遂げました。

また、21日にミヤチク高崎工場で開催された枝肉の部では、西臼杵地域からは、5頭が出品され、牛肉のおいしさに関係するMUF Aの平均値が団体1位であり、高千穂牛の更なるPRにつながるものと思います。

普及センターでは、今後も関係機関と連携し、西臼杵地域の畜産振興に努めてまいります。



【団体優勝の表彰】

II 主な普及指導活動等の取組み

1 プロジェクト（総合、専門）に関する普及活動

[総合：集落営農等サポート体制、担い手の確保、規模拡大、6次産業化 等]

[専門：ミニトマト、キンカン、ラナンキュラス、りんどう]

1 【日之影町】ドローンを用いた水稻の湛水直播実証ほの生育状況調査

21日、日之影町に設置している標記実証ほにおいて、収穫期前の生育調査を実施しました。

根の浅い箇所を中心に倒伏が確認され、収量への影響が懸念されます。

今後、移植栽培との比較を行い、生育や収量、品質等の結果については、研修会等を通じて報告する予定です。



【湛水直播収穫前の状況】

2 【高千穂町】ライフプラン作成支援

3日、普及センターにおいて、新規就農者2名を対象としたライフプラン作成支援を行いました。農業経営におけるライフプランは、自身の将来像を具体的に描き、それに向けた資金計画を明確にする上で重要なものです。

はじめに、ライフプランの重要性や具体的な作成手順について研修を行い、演習では、新規就農者が、家計および農業経営における収支状況を記入していくことで、より具体的なライフプランについての理解が深まりました。

今後も、新規就農者の皆様が持続可能で安定した農業経営を確立できるよう、経営的視点からの支援を継続してまいります。



【ライフプラン作成支援】

3 【全域】就農相談会の開催

就農を希望する相談者2名に対し、各町担当者及びJAと共に、以下の支援を行いました。

・15日、日之影町1名（希望品目：くり、ブルーベリー、農産加工、農家民泊等）

・28日、五ヶ瀬町1名（希望品目：イチゴ）

相談会では、農地や施設等の就農準備状況や最終的な経営規模、収支計画の作成状況について聞きとりを行うとともに、就農予定地の現地調査を行いました。

今後も関係機関等と連携して、相談者の意向も踏まえた経営計画の作成支援等を行っていきます。



【五ヶ瀬町 就農相談会】

4 【高千穂町】高千穂ファーマーズスクール検討会

20日、普及センターにおいて、高千穂町、JA担当者が参集し、高千穂ファーマーズスクールの運営や研修体制に関する検討会を実施しました。

今回は、主に研修品目や研修スケジュール、募集パンフレットの見直し等に関する協議を行いました。

今後も、関係機関・団体と連携し、新規就農者の確保や育成に向け支援していきます。



【高千穂ファーマーズスクール 検討会】

5 【日之影】ミニトマト巡回を実施

3日及び24日の2日間、日之影町のミニトマト生産者5戸のほ場の巡回を行い、草勢管理について調査しました。各ほ場とも栽培の終盤を迎えており、10月末で出荷を終了する見込みです。

出荷終了後の12月には、土壤硬度調査を行い、次作に向けた栽培指導に繋げる予定です。



【ミニトマトの生育状況】

6 【高千穂町・日之影町】きんかん全戸巡回を実施

8日に日之影町、9日に高千穂町において、きんかんの全戸巡回を行いました。

生育状況は果実肥大期で、順調に成長していましたが、昼は暑い日が続き病害虫の発生も各園地で見られたため、防除指導を行いました。

今後、気温が下がり、果実の着色が進んでいきます。引き続ききんかんの生産振興に向け支援していきます。



【きんかん園地にて生育確認】

7 【管内】高千穂地区果樹産地構造改革計画検討会

17日、普及センターにおいて、「果樹産地構造改革計画」に関する検討会が開催され、関係者が一堂に会しました。この計画は、5年に一度、果樹産地の目標を設定し、その振興に取り組むものであり、今回は管内における各関係機関・団体のこれまでの取り組みや今後の推進策について、活発な意見交換が行われ、より実効性の高い計画策定に向けた具体的な道筋が見えてきました。

次回は、11月に開催される高千穂地区営農振興協議会果樹部会の会議にて、引き続き協議を進めてまいります。



【果樹産地計画検討会】

8 【管外】高千穂地区営農振興協議会果樹部会の視察研修を実施

28日、営農振興協議会果樹部会の視察研修を実施し、関係者8名が参加しました。

はじめに、日向市においてへべす栽培に新規参入した(株)ひむか農園の大規模園地を訪れ、東臼杵南部農業改良普及センターから支援状況について説明を受けました。

続いて、大分県宇目地域にある栗園地を視察し、市の担当者より栗の新規就農者支援に関する説明を受けました。

今回の研修では、各支援機関との間で活発な意見交換が行われ、それぞれの地域における課題や工夫点について貴重な知見を共有しました。

管内においても担い手不足が進行している現状を踏まえ、今後も関係機関・団体と連携し、果樹分野における担い手確保・育成支援に一層取り組んでまいります。



【へべす園地での意見交換】

9 【高千穂町】耐暑性リンドウ展示ほ調査の実施

23日、高千穂町岩戸のほ場で取り組んでいる展示ほの生育調査を行いました。

収穫から4ヶ月経っている現在、新たな芽が出ていました。品種や株によって異なりますが、10cm以上伸びている株も確認できました。

これからも調査を行い、西臼杵に適した品目であるか見極めていきます。



【耐暑性リンドウの新芽】

10 【管内】暖房基礎研修会

30日、県営農振興協議会が主催する標記研修会が開催され、普及センターをリモート会場に、関係者9名が参加しました。

研修会では、農業資材メーカーを講師に、ハウス暖房の基本や効率的に使うための設置方法等について、現場の実例等を交えながら説明があり、加温方法について見直すきっかけとなりました。

今回得られた知見は、技術員による巡回等で生産現場での指導に役立てていきます。



【暖房基礎研修会】

11 【高千穂町】ラナンキュラス展示ほ開始

15日、高千穂町三田井にあるラナンキュラスほ場において、ラナンキュラスの自動給水器を活用した内張資材散水の展示ほを設置しました。

この試験では内張資材への定期散水により発生する気化熱を利用しハウス温度上昇を抑えることで、定植初期の高温障害の軽減を目的としています。

約1ヶ月ほど生育を確認し、効果の有無を見極めていきます。



【自動給水器】

2 プロジェクト（総合、専門）以外の普及活動（一般活動）

1 【全域】有機農業に関する先進地調査

1日、管内3協議会（西臼杵農業改良普及事業協議会、西臼杵地区認定農業者協議会、西臼杵地区農業経営指導士会）による有機農業先進地調査を熊本県山都町で実施しました。

はじめに、山都町役場から町の有機農業の取組や支援体制等に関する説明を受け、次いで有機農業研修施設「有機の学校 ORGANIC SMAILE」において研修体制や有機栽培に関する理論や栽培技術等に関する説明を受けました。

参加者からは、「室内研修に加え、現地ほ場（水稻、露地野菜）も見ることができ有意義な調査でした」との感想をいただき、今後の管内農業の発展に資する調査となりました。



【有機農業先進地調査（熊本県山都町）】

2 【全域】高千穂地区茶業振興会 役員会の開催

9日、JAみやざき高千穂地区本部において、標記役員会が開催され、協議会役員及び関係者が参加しました。

会議では、茶の販売実績や全国茶品評会及び宮崎県共進会の審査結果について共有され、今後の計画について協議しました。また、今回は、JAみやざき本店から、今後の西臼杵の茶生産地の維持に向けた提案が行われました。